

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年3月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690102290
法人名	株式会社 亀藤
事業所名	グループホーム 楽 (2F)
所在地	鹿児島県鹿児島市中山町1207番地1 (電話) 099-203-0577
自己評価作成日	令和3年3月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年3月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自宅のような家庭的な環境の中で穏やかに自分らしく過ごせる環境づくりに努めている。また、地域の行事に参加したいと考え町内会長や民生委員の方から行事予定等の情報収集を行っている。しかし、今コロナ禍の状況の為、参加は行っていません。

入居者の健康管理・体調変化・緊急対応時、主治医や看護師と医療連携の体制ができています。

残存機能を生かした自立支援に視点を置き、必要時には見守り・声掛け等を行い安心安全に努めている。個々のレベルに応じたレクリエーションや趣味や楽しみを提供できるよう工夫している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員全員が理念に基づいたケアに努め、安心して快適な生活の場を提供している。ご家族・地域の方々との交流を深められるよう努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	季節ごとの行事を行い、地域の方々へパンフレットをお渡しして当施設のことを知っていただくように努めている		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症についての資料を地域に方々にお配りしている。認知症の理解をしていただくよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員やご家族、入居者様へ前もって日程を組み会議への参加をお願いしていたが、コロナ禍で今は行っていない。運営推進会議での近況報告や行事報告を紙面化し、お配りしている。意見や気づきをいただくようお願いをしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	入居申込みや待機状況報告は定期的に行っている。窓口を訪ね書類提出や報告等を行っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束を行わないケアを意識してケアの正しい理解と技術を習得するよう勉強会を行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	管理者や職員は、オンライン動画の研修を受けて常に学ぶ機会を持っている。困難事例の場合には職員間で話し合う機会を設け一人で悩まないよう情報共有と意見交換を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	個人の権利を守れるように権利制度に関する研修や勉強会等で学び、支援に繋がられるよう努めている。ご家族とは常に連絡・連携が取れるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時にはわかりやすい言葉で十分な時間をかけゆっくりと細やかに説明をし、同意・理解を得られるよう努めている。変更事項がある場合は速やかに連絡・説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日頃から入居者様の言葉に耳を傾け可能な限り意見や要望が叶うよう支援している。ご家族様の面会時には積極的に声をかけ近況報告をしつつ意見・要望を出していただいている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員からの意見や要望はミーティングや面談を行い話し合いの場を設けている。検討が必要な内容は速やかに検討し、見直し・決定等も行っている。相談等は個別に時間をかけて向き合い助言を行っている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員個人の能力・キャリア・年齢・家族状況等を考慮し、精神的・身体的に負担増にならないよう労働環境に配慮している。内容によっては代表者へ報告し、見直しや改善を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修は職員全員が年間を通して参加できるよう考えている。内部研修も行っている。研修の報告書を残し、フィードバックも行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他介護施設・他介護施設等の意見交換や交流を行い、良いところは取り入れている。改善点や見直しが必要なところは速やかに対応して、介護の質の向上・職員のスキルアップに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用前の情報収集を行い、職員間での情報共有に努めている。入居時は不安を和らげるよう同じ目線で声かけを行い、不安事や要望を聞き取り安心した関係・環境作りに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族面会の際は挨拶をし、最近の様子をお伝えしている。今は電話報告も増えている。またご家族からの意見・要望等を伺っている。よりよい関係性・コミュニケーションを図れるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人の生活歴、入居前の情報収集を行い、かかりつけ医との連携を取り、必要とされる支援や訪問診療が受けられる体制をとっている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>安全面に配慮し、入居者様のできることに目をむけた役割作りの場を作っている。できることにより自信を持っていただき、笑顔で過ごしていただけるような雰囲気作りに取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人とゆっくり語れる環境に配慮し、近況についてお伝えするようにしている。また、体調不良について伝える必要がある場合は電話で報告している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会にこられた方へは窓越しでの面会を提供したり、丁寧な対応を心がけている。電話やお手紙のやり取り等の支援も行っている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様の性格や相性を考慮しながら座る席を検討している。好きな活動を通して交流し楽しんで過ごせるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居時にご家族との信頼関係の構築に努め、サービス終了後も必要な相談・支援の対応ができる関係性の継続に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人・ご家族の聞き取りをし思いにそったケアを提供している。問題発生時には職員間で話し合いの場を持つなどしてその都度対応している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用前からご本人・ご家族と関わることでこれまでの暮らしの把握を行うとともに、サービス利用時の情報提供報告書なども活用している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中でご本人の様子観察を行うとともに、変化があればその都度話し合いの場を持つなどしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	思いにそった生活が出来るようご本人・ご家族との話し合いの場を持ち自立支援に繋がる介護計画を作成している。身体面は変化があれば主治医に相談するなどし、現状に適した対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一日の生活の様子を個人記録に残し職員間で閲覧できるようにしている。申し送りなどにより情報に共有を行っている。その情報は、介護計画の見直しにも反映させている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	急な受診が必要な際、家族同行ができない場合は職員が同行している。訪問歯科・訪問美容室などご本人・ご家族の希望により依頼を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問マッサージ師より可動域を広げるような動きを教わり個別リハビリとして行っている。体操へも参加し楽しんでいただいている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の毎月2回の定期受診を行っている。体調変化時には往診の依頼や他科受診が行える体制を整えている。結果はご家族へ報告し、情報共有も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日のバイタルチェックを含む日々の様子観察の中で、体調不良などの変化時にはクリニック看護師に報告・相談している。必要時には受診のできるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院が必要な際は速やかに情報提供ができるよう体制は整えている。病院関係者との情報交換・訪問・カンファレンスに参加する等の関係作りも積極的に行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時状態が重度化した際、現在施設として行えるケアについて説明している。利用時状態変化時にはご本人・ご家族・主治医等の関係者を交えた話し合いを行い、対応の仕方・方向性の共有を行っている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生時の対応の仕方についての情報共有は定期的には、また新職員があった際などは随時に行っている。夜間帯の急変時の対応は定期的に手順の確認を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害発生時の避難訓練は年二回行う予定としている。消防署員立会いのもと避難訓練も行っている。水・食料の備蓄も置いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報等は事務所の鍵付きの棚で保管している。状況に応じては職員・ケアの統一を図り、個々のプライバシーやプライドに配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	必ず自己希望を聞き可能な限り自己決定の選択の場を設けている。繰り返しの行動や会話への対応時は相手に合わせて支援に努め、会話・説明を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人のペースや体調に合わせたその日に過ごしたい希望に添った支援を心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご家族の意向取り入れ、ご本人の趣味・意見にそった支援に取り組んでいる。ご本人・ご家族の希望があった場合の訪問美容室の利用もできるように努めている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しんでいただくために嗜好調査を行ったり、旬の食材や季節の料理などを取り入れ提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の嚥下や咀嚼の状況を把握し、個々の食事形態での食事提供を行えるよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内の清潔保持のための声かけ・口腔ケアは毎食時行っている。訪問歯科の往診も定期的に、また必要時に行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	主治医と連携を取りながら排便・排尿記録を利用して個々の排泄コントロールも把握に努めている。また時間の間隔を見てトイレ誘導の支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や繊維を多く含む食事・乳製品などの提供に努めている。個々に合った歩行や運動を日々の生活に取り込むようして、体を動かすような支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援している	入浴室・脱衣所の環境整備・室温調整を行いながら、個々も体調に合わせた入浴を行っている。介助の必要な方には介助を行い安全に努めている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の体調に合わせた、またその人の生活リズムも把握した支援を心がけている。昼夜逆転にならないような昼寝・休息を取り入れ、取り組んでいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報を把握し、変更時にはその都度確認・申し送りなどを行い支援に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	職員と一緒に洗濯物を干したりたたんだり、掃除や食事作りの下ごしらえ等手伝いしていただいたり、趣味の手芸等、個々の能力に応じたできることをして頂く時間と場を作っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍で外出はできていない。花壇の草花への水やりも行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	ご家族よりお小遣いとして預かり出納長を準備して管理を行っている。本人が欲しいものがあったり買い物に行きたいと希望された際には、職員同行にて買い物に行ったり、代わりに買い物に行ったりしている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	ご本人の希望があった際電話をしたり手紙を書けるような支援に努めている。手紙に関してできない事もある入居者様へは内容に応じて代筆・代読・投函など代理で行うようにしている		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	毎日共有部分の掃除を行っている。また業務終了時には浴室や台所の掃除消毒を行っている。居室・トイレ・浴室等はわかりやすく案内表示をしている。折り紙製作していただき季節を感じられるよう施設内に飾っている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	ホールではテレビを見たり談笑したりできる空間作りを心がけている。ソファも準備しておりゆっくりと腰掛けられるような場所を提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人・ご家族のなじみの物や使い慣れた置物やクッション、また写真をもっていただき、居心地の良い安心できる環境づくりを工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり	トイレや浴室等案内表示をしている。過介助にならないよう個々の能力に応じた自立支援を行っている。歩行については、介助が必要な方には寄り添い・声かけを行うなどして安全に、また自信に繋がる支援に努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	*	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない